

# 特 殊 報

長崎県病虫害防除所長

## 平成20年度病虫害発生予察 特殊報第4号

1 病虫害名 アワダチソウゲンバイ

2 学 名 *Corythucha marmorata* (Uhler)

3 発生作物 ひまわり

4 発生場所 長崎市香焼町

5 発生確認の経過

平成20年9月に長崎市香焼町で、花壇として管理されていた生育不良のひまわりにゲンバ  
イムシが寄生しているとの連絡があり、9月4日に現地を調査したところ、ひまわりの葉に寄  
生する成虫および幼虫を確認した。

現地で採集した成虫を農林水産省門司植物防疫所に同定依頼したところ、アワダチソウゲン  
バイであることが確認された。

本種は北米原産の侵入害虫で、国内では平成12年に兵庫県で初確認され、平成17年頃か  
ら急激に全国に分布が拡大している。九州では佐賀県、熊本県から特殊報が発表されている。

6 形態および生態

(1) 形態

成虫の体長は約3mm、軍配に似た形状をしている。前翅の周辺部に顕著な小棘を列生し、  
前翅には多数の不定形褐色斑がある(写真5、6)。

幼虫は全身が褐色の紡錘形で、翅芽の基部や腹部の基部がやや暗褐色になる(写真4)。

(2) 生態

他県の報告によるとセイタカアワダチソウで成虫で越冬して4月中旬に第1世代が発生し、  
その後、羽化成虫が作物に飛来し、加害が始まる。

成虫、幼虫ともに葉裏に寄生し、主に幼虫が集団で吸汁加害する。加害時期は5～10月頃  
まで、成虫発生ピークは7～8月である。

7 被害の特徴

吸汁により被害葉の表面はカスリ状に白変し、排泄物により茎葉に汚れが発生する。加害が  
進行すると葉が黄化、枯死する。

8 寄主植物

これまでに国内では、下記の植物で本種の寄生・加害が確認されている。

キク科作物：きく、ひまわり、ノコンギク、シオン、ヒャクニチソウ、ユリオブスデージー、  
キクイモ、食用ぎく

キク科雑草：セイタカアワダチソウ、ブタクサ、オオブタクサ、オオアレチノギク、  
オオオナモミ、ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、ヨメナ

ヒルガオ科：かんしょ

ナス科：なす

9 防除対策

圃場周辺のセイタカアワダチソウ等のキク科雑草は、本種の発生源となるため、除草を徹底  
する。

10 参考文献

横浜植物防疫所 病虫害情報 77：4-5(2005)「わが国で新たに発生し分布を拡大しているゲ  
ンバイムシ」



写真1 ひまわりの被害葉（表）



写真2 ひまわりの被害葉（裏）



写真3 葉裏面の成虫および幼虫と排泄物



写真4 老齢幼虫



写真5 成虫全体図



写真6 成虫頭胸部拡大図

（写真4～6：横浜植物防疫所原図）

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027